

小山莊家族物語

一生きられた化石と住みこなす日々ー

坂牛研究室 4111072 根本昌汰



住むことと建てることの一致が欠けた現代の住まいでは
人は家に暮らさせられている。

もっと豊かに住むことはできないのか
一人が家族をつくり、記憶がまちをつくる

生きられた証を新しい RC 造の建築躯体に継承し建て替える。
人々はその空間にヒントを見つけ「仮設的」に「より自由に」住みこなしていく日々。

木造密集地域の四人兄弟

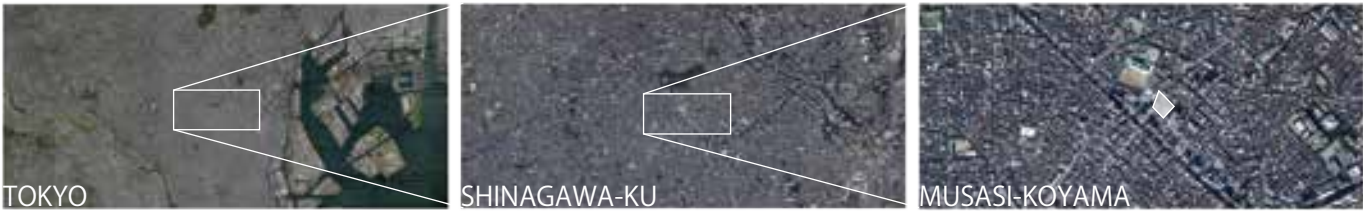


僕は東京の南、大田区西六郷の木造密集、準工業地帯で幼少期をすごした。幼い頃から夢見てきた建築家という人物像と大学で学んだ建築家像にはギャップがあった。多木浩二の「生きられた家」を読むと、少しだけれどそのギャップの謎がわかった気がした。そのギャップを埋めるような、自分なりの建築と建築家像を提案する。



1. 都市のなかの自然
2. 夏の思い出
3. 工場の前は駐車場
4. 負けじと次男、マネっこ三男

武蔵小山



東京の南、品川区は商店街で栄える住宅地である。その中でも武蔵小山は 800m 以上続くアーケード商店街として有名で、活気にあふれた魂のあるまちである。東急目黒線の地下化により自転車であふれかえていた駅前を整備され、便利で安全なまちになった。まちの一部がごっそり変わってしまう計画を知ったのは夏のことだった。

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| | | 4 |

1. パレム商店街入口に向かって
2. 昔の表れと現在の表れの混在
3. 可動底と装飾底の看板建築
4. 店舗の看板のあふれだし

武蔵小山パレム駅前地区

再開発の波が押し寄せている。地上 40 階建ての高級タワーマンションの計画は保育施設、商業、公共駐輪場、広場を含む。急激なジェントリフィケーションは避けられない。

ここは、闇市由来の自然発生的な長屋が集まったまま、時間が止まったような雰囲気を持つ。いまだ会員制のスナックや個性的なバー、立ち飲み屋が並びながら活気にあふれている。

この地区は保存するほど価値があるとは言えないし、まちにとって危険なスラムでもない。しかし、建物の更新の時期は迫っている。**このような狭間にたつ、木造密集商業地を救うすべはないだろうか。**



- | | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| 2 | |

1. 平面計画
2. 配置計画
3. パース

敷地周辺現況調査

計画敷地は商店街と東急目黒線武蔵小山駅の出口に面する横丁である。東急線地下化により駅前ロータリーと線上の駐輪場が整備されたため、駅前の様子は様変わりした。雑多な様子を残すのは戦後すぐに構成された商店街とその横丁である。



店舗分布

- | | | | |
|-------------------|------------------|---------------|-------------|
| 1. ふくふく餃子 | 21. 東洋商会 | 41. 亀八脂 | 61. バーラー F4 |
| 2. 築地銀だこ | 22. ARNA | 42. ダイヤモンドヘッド | 62. 神寿堂 |
| 3. いがらし園 | 23. ラ・クローヌ王族 | 43. 佐一 | 63. 中華垢垢 |
| 4. タステック | 24. 庄や | 44. すし三崎丸 | 64. バー菓隠 |
| 5. みずほ銀行 ATM | 25. バレグス | 45. 7 DAY' S | 65. アプローチ |
| 6. ファイヤードラゴン | 26. ニシカン | 46. 重森の人形焼 | 66. BarLH |
| 7. エイブル | 27. 喜多方ラーメン坂内 | 47. 麻雀ローマ | |
| 8. たつや | 28. TUC ショップ | 48. gyunao | □ 67~69 住宅 |
| 9. ベルズビル | 29. ハレルパビル | 49. エステートサンワ | |
| 10. 鳥勇 | 30. IKKI | 50. KUCINA | |
| 11. post it crepe | 31. 七八 | 51. 成駒 | |
| 12. 明治興業 | 32. 古都里 | 52. bar zott | |
| 13. 八色 | 33. 晩杯屋 | 53. Craquel | |
| 14. 和 | 34. 我楽多酒坊 | 54. つかさ | ■ 小売り |
| 15. 山福 | 35. じゅんこ | 55. ShouEn | ■ 飲食店 |
| 16. グランナガサキ | 36. Quatre avril | 56. 我楽多村 | ■ 不動産 |
| 17. 愛酒道場リズム | 37. 養老之瀧 | 57. れいぶ | ■ サービス |
| 18. 東洋不動産 | 38. サンティドゥール | 58. ランドリーホワイト | ■ 遊興施設 |
| 19. すたんどちっばす | 39. スナック天文館 | 59. テルル | ■ その他 |
| 20. コヤマ | 40. 待子 | 60. ちよだ脂 | □ 住宅 |



面積表

敷地面積：約 3100 m²
建蔽率：80%
容積率：500%
建築面積：約 2480 m²
延床面積：約 6200 m²

敷地平面調査

既存建物の調査をまちを歩き、見られる範囲で行った。多くの建物が住商併用建物であるため店舗の空間のみ内部平面の調査を行った。会員制のスナックや住宅は調査は不可能であったが、これらは生活が豊かな外面的な現われにつながっていた。

計画敷地の北東側の道路は幅幅を想定し中心線から 2m の線を敷地境界線とし、連担建築物設計制度を用い計画地を一つの街区として扱う、共同建て替えを行う。





既存断面図

Scale:1/150

910
0 1820 9100 mm_10 間



- S 造
- RC 造
- 木 造

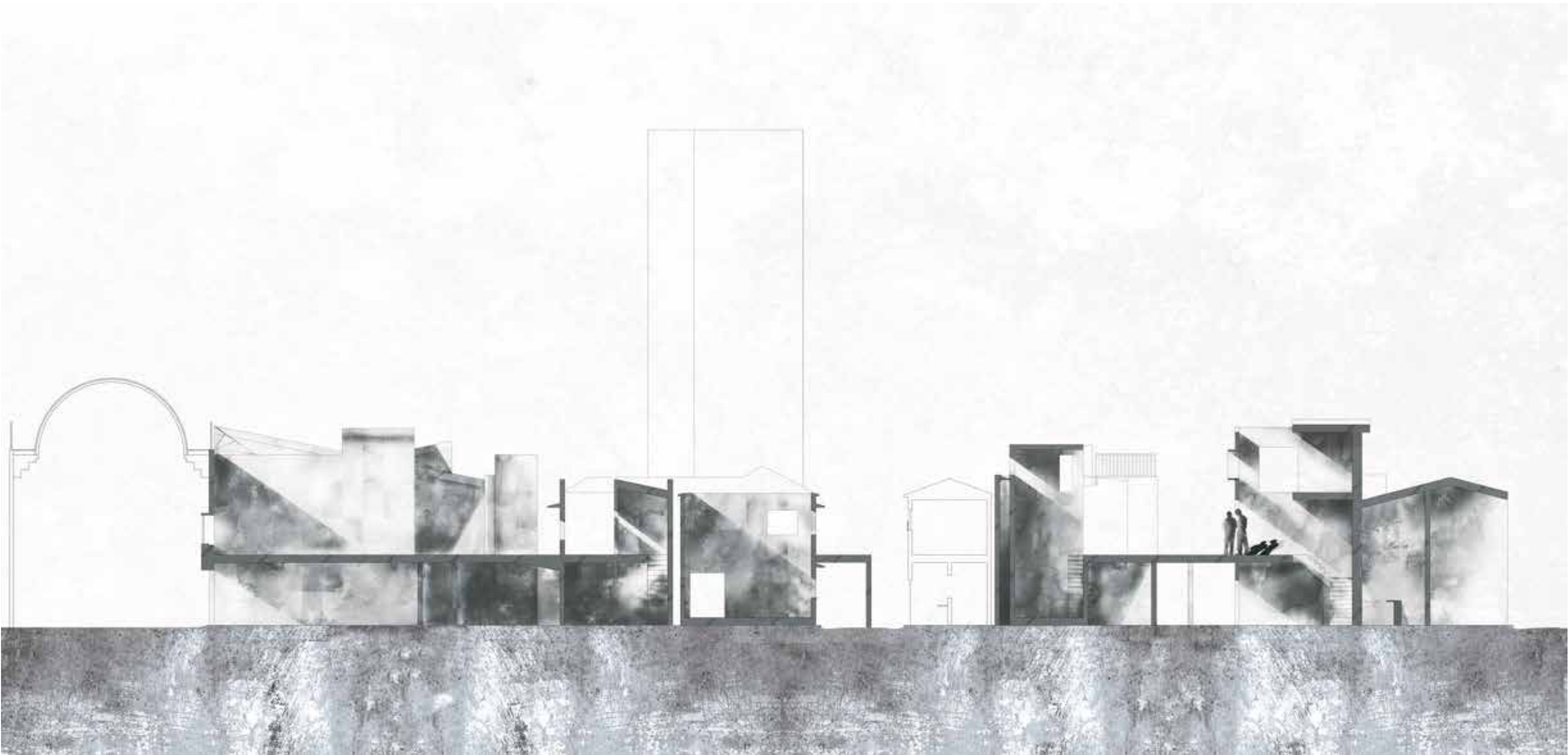
既存平面図
Scale: 1/200
0 910 1820
9100 mm_10 間

生きられた化石

生きられた証を新しい RC 造の建築躯体に継承し建て替える。

現在の住人によってつくられてきた建築の姿を
再開発で一掃するのではなく
ずっとそのままに保存するのでもなく
できるだけ残しながら、変えていく。
建て替えていくプロセスが建築家の仕事。





3つの決まり事

継承のルール

計画のルール

設計のルール

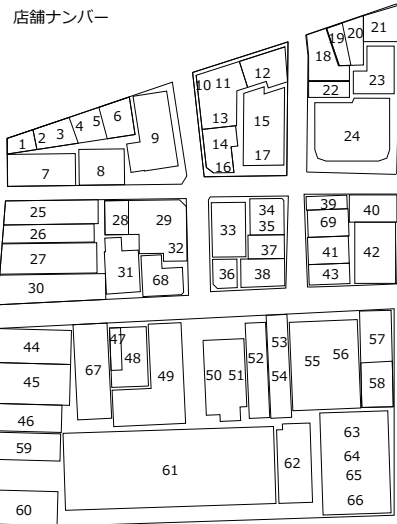
積層するデザインの時代性、更新され名残りを残し続けるまち

1
29
33



2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

店舗ナンバー



1. ふくふく餃子
2. 築地銀だこ
3. いがらし園
4. タステック
5. みずほ銀行 ATM
6. ファイヤードラゴン
7. エイブル
8. たつや
9. ベルズビル
10. 鳥勇
11. post it crepe
12. 明治興業
13. 八色
14. 和
15. 山福
16. グランナガサキ
17. 愛酒道場リズム
18. 東洋不動産
19. すたんどちっぶす
20. コヤマ
21. 東洋商会
22. ARNA
23. ラ・クーロンヌ王族
24. 庄や
25. バレックス
26. ニシカン
27. 喜多方ラーメン坂内
28. TUC ショップ
29. バレバビル
30. IKKI
31. 七八
32. 古都里
33. 晩杯屋
34. 我楽多酒坊
35. じゅんこ
36. Quatre avril
37. 養老之蔵
38. サンティドゥール
39. スナック天文館
40. 待子
41. 亀八脂
42. ダイヤモンドヘッド
43. 佐一
44. すし三崎丸
45. 7 DAY' S
46. 重森の人形焼
47. 麻雀ローマ
48. gyunao
49. エステートサンワ
50. KUCINA
51. 成駒
52. bar zott
53. Craquel
54. つかさ
55. ShouEn
56. 我楽多村
57. れいふ
58. ランドリーホワイト
59. テルル
60. ちよだ脂
61. バーラー F4
62. 神寿堂
63. 中華現現
64. バー果隠
65. アプローチ
66. BarLH
67~69 住宅
小売り
飲食店
不動産
サービス
遊興施設
その他
住宅

19
25
26
27



47



48



49



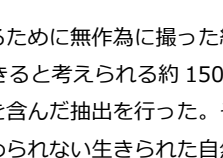
50



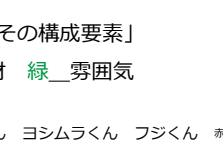
51



52



53



54



55



56



57



58



59



60



61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74



75



76



77



78



79



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



91



92



93



94



95



96



97



98



99



100



空間の継承すべき要素を抽出するために無作為に撮った約 800 枚の写真から全体を網羅できると考えられる約 150 枚に選抜き複数名による客観性を含んだ抽出を行った。そこにはわかりやすい言葉にまとめられない生きられた自然の姿があった。

「継承したい、いい風景、そしてその構成要素」

黒_建築 赤_仮設的 青_素材 緑_雰囲気

Special Thanks for helps

やまりよう てら 秀星 黒田氏 平田さん ヨシムラくん フジくん 赤松氏



生きられたまちの分析

表 — 裏



表 — 裏



表 — 裏



...

表は、表でありつづけ

計画のルール

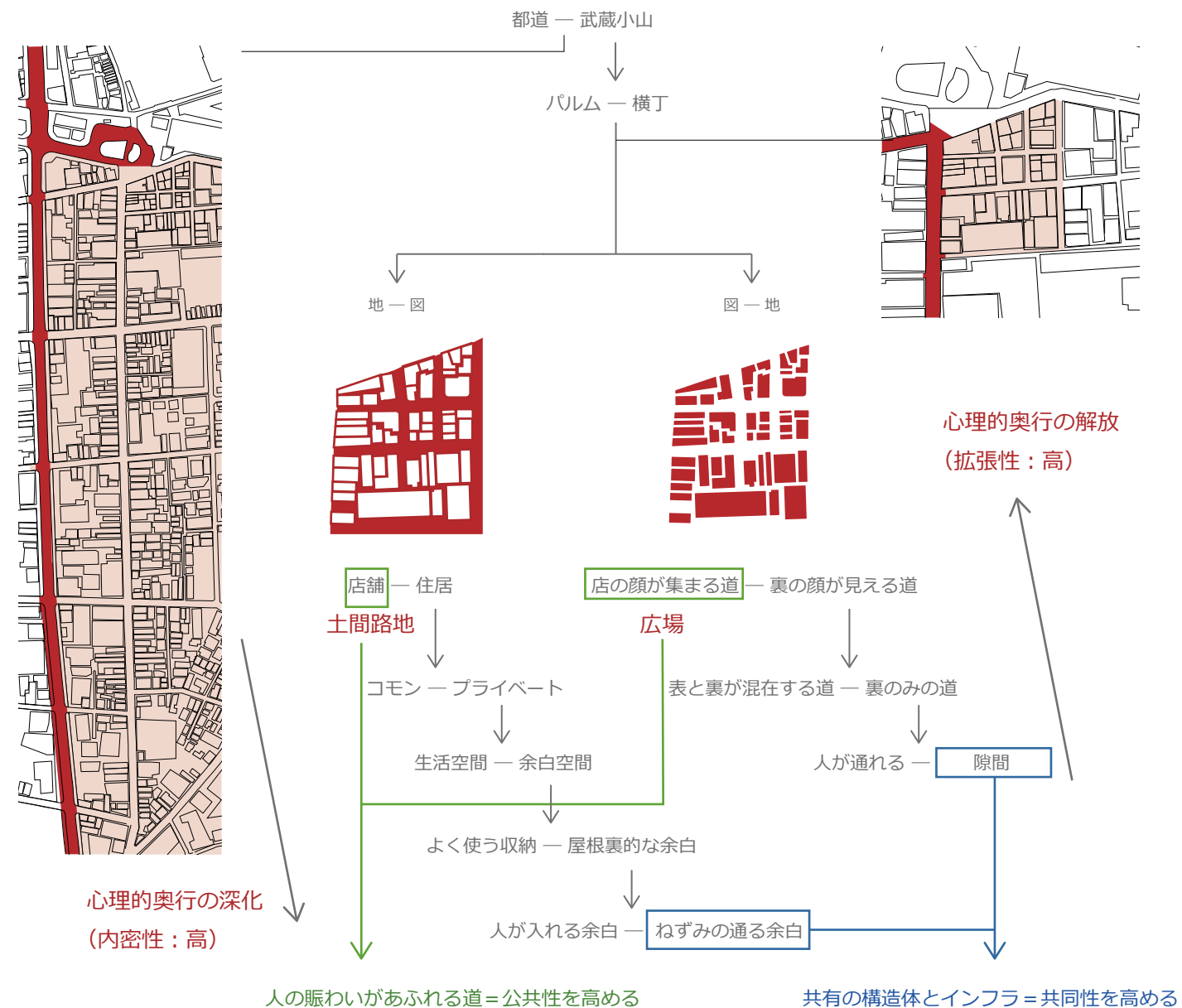
裏は、表と裏に二分される。

多木浩二「生きられた家」より

心理的奥行が深くなっていくが
物理的奥行は近接している折り紙を半分に折る。表と裏を決め、裏を山にさらに折り続ける。
開いてみると表面と最も裏面との距離は近い。

公共性と共同性を高める

生きられたまちは表と裏が近い距離で混在している。全体を一つの建築とし、構造体と設備を共有することで住人の共同性を強める。また広場、空地、公共機能を付加しまちの一部となる。つまり、裏はより裏にまとめ、表はより表に開いていくことで住人意識は内外へと広がる。



このまちがまちらしさを続けていくために

防災性の向上



木造密集の商店街は設備が露出し火災や災害時の危険性がある。建築躯体の RC 造による不燃化と設備の集約によって防災性を高める。

衛生面の改善



表と裏が混在した場所にはバックヤードがない。裏導線や厨房を共有し、裏があふれ出さないスペースを確保する。

公共性の付加



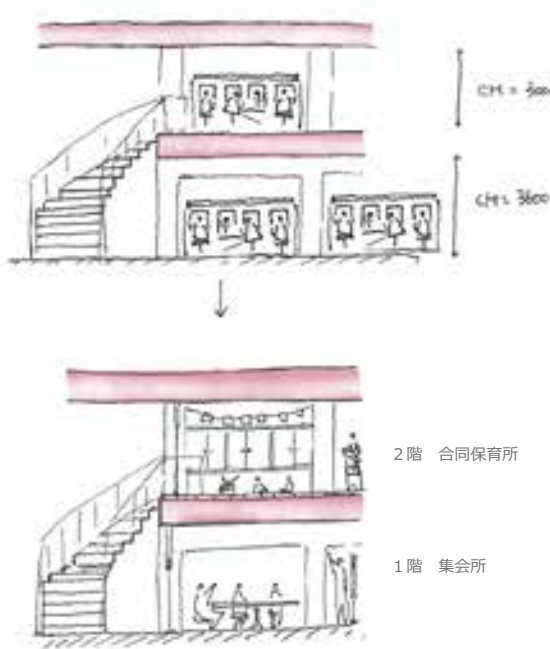
現在は駅前にかかわらず立ち飲み屋、会員制のスナック、クラブにより構成され、排他的な共同体を形成している。公共性を付加することで多くの人に認められる地域と変えてゆく。

計画設計

現在の東側の大きな建物はかつて長屋街には欠かせない公共空間である銭湯だった。

耐火構造である既存 S 造の建物の高い天井高と大きなスパンを生かし、一階は催し物が行えるような集会所と、2 階は小山荘の住人とその近隣住人による合同保育所、児童館、学習塾を住人たちによって運営する。

・パチンコ屋→集会所と共同保育所



・新しい導線のための備え

照明
サイン
空調

建てることの周期—建築躯体の更新—

第一期更新対象物



築年数より、早急に更新が求められる敷地南側の建物から更新を始めてゆく。既存耐火建築物と築年数の若い建物はリノベーション・コンバージョンを行う。

第二期更新対象物



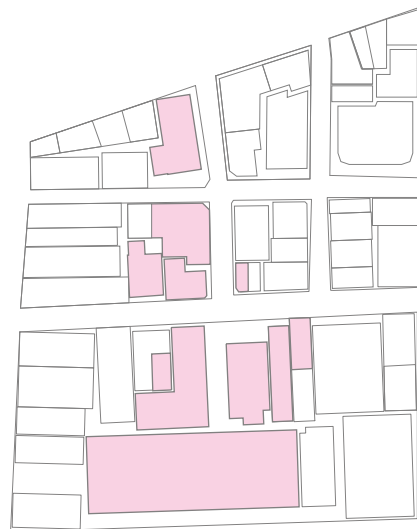
一番の表、商店街に面する建物群を中心に更新する。

第三期更新対象物



東側の領域は道を介し賑わいがあふれ出している立ち飲み屋や飲食店が密集しているため最後の更新とする。

第四期更新対象物



第一期に改修した既存耐火建築物の寿命により更新をする。それに伴い周辺で必要なところは部分的に壊し、更新をしてゆく

第五期更新対象物



RCの耐用年数、使用状況、社会、文化、など様々なことを加味し検討を重ね、次の世代へのまちづくりの計画とともに更新は続いていく。

RC造で作った建築は最低でも50年はもつ。「生きられた化石」の更新周期は住みこなすための更新の周期と別の時間軸をもち、工学的な周期で更新してゆく。第三期の更新までを提案とし代謝を繰り返してゆくため、この建築には完成がない。その時その瞬間が作品である。



時間軸

五期

50年

四期

30年

提案

三期

15年

二期

10年

一期

5年

住まうことの周期—生活により繰り返す増改築—

入居
開店結婚
イートインサービス開始子供の成長
店舗拡大

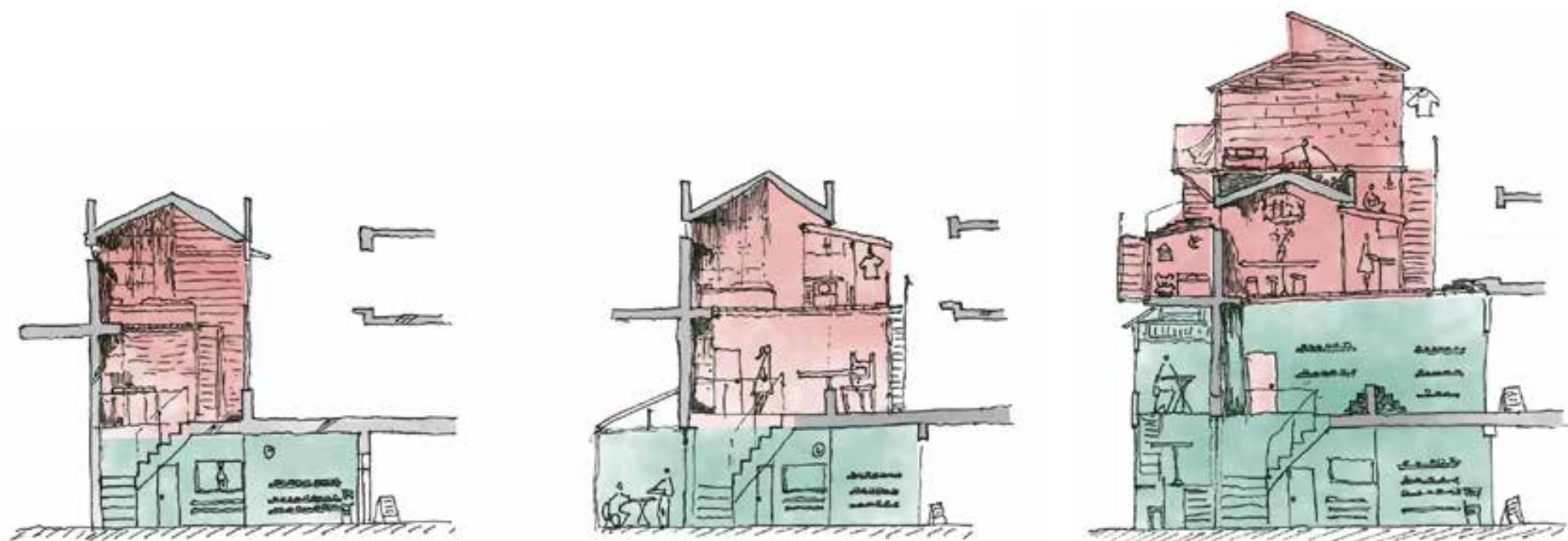
時間軸

建てることの周期と住まうことの周期は一致しない。

生きられた化石に「仮設的に」住まいをつくっていく。「仮設的に」とは生活に合わせて気軽に増改築を繰り返していくような「自由さ」を持つポジティブな意味での住まいである。

かつてのメタボリズムと違うのは工業製品の商品として考えていない点にある。もちろん、ホームセンターで買えるような材料を使ったDIYからプレファブ小屋を置くのまで建築家と相談する。

向かいあう住人との親密なコミュニケーションが必要となるが、建築を共有していることで強まった共同体が解決してくれるだろう。

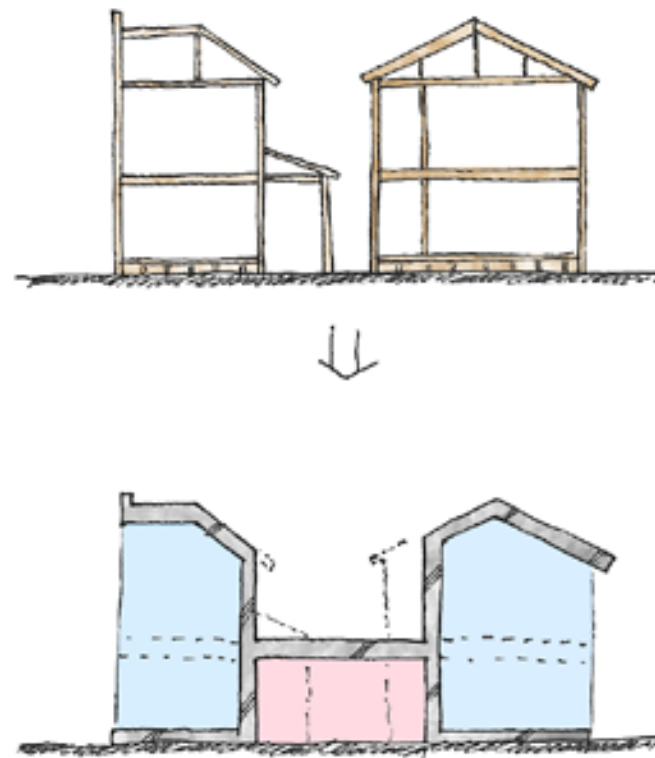


間引く設計プロセス

既存建築図面から木造建物の壁をすべて RC 壁式構造と仮定して設計を進めた。

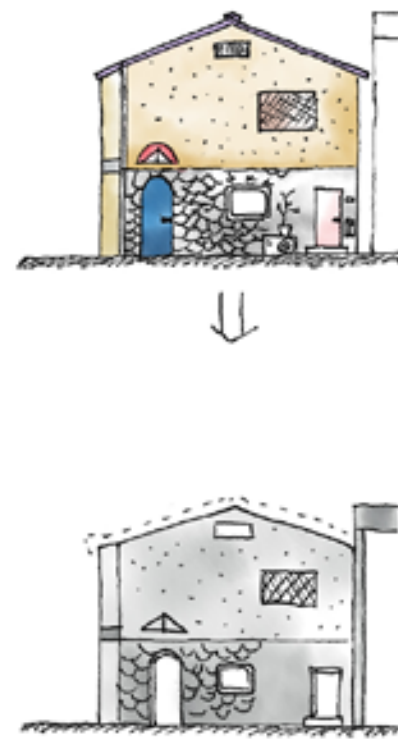


Base Diagram1



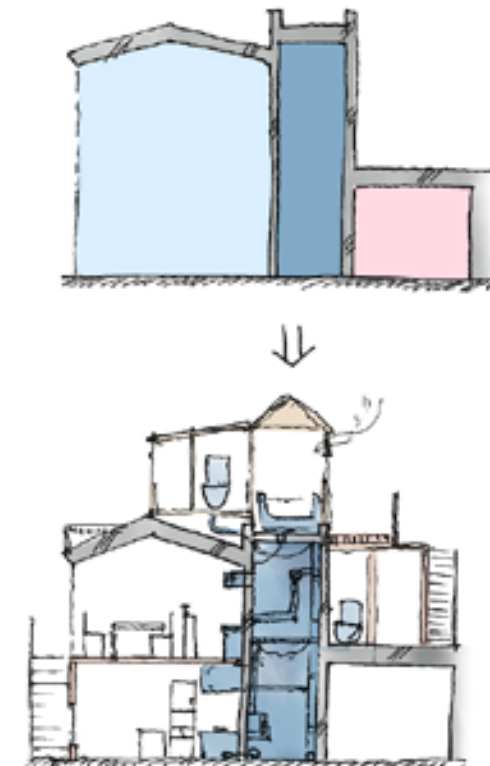
新しい動線を計画した場所は天井を設け屋根をはい、それ以外は床を間引いた空間を用意し仮設の部分が入り込める余白とする。

Base Diagram2

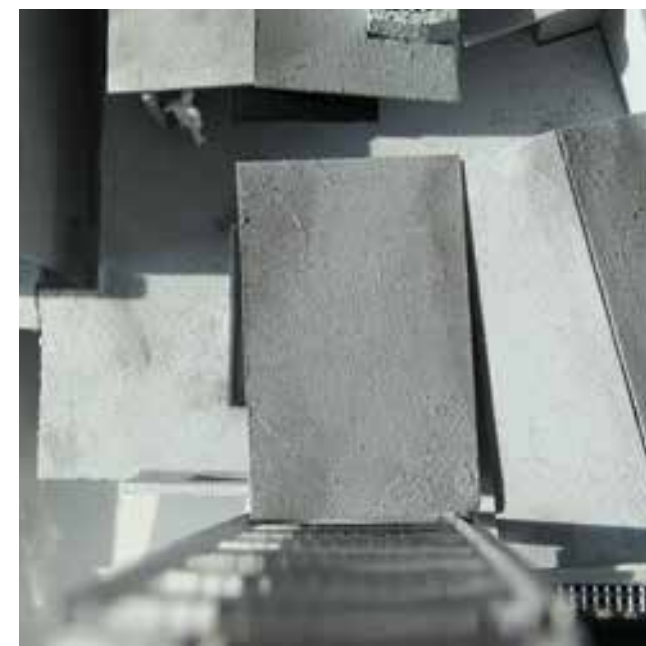
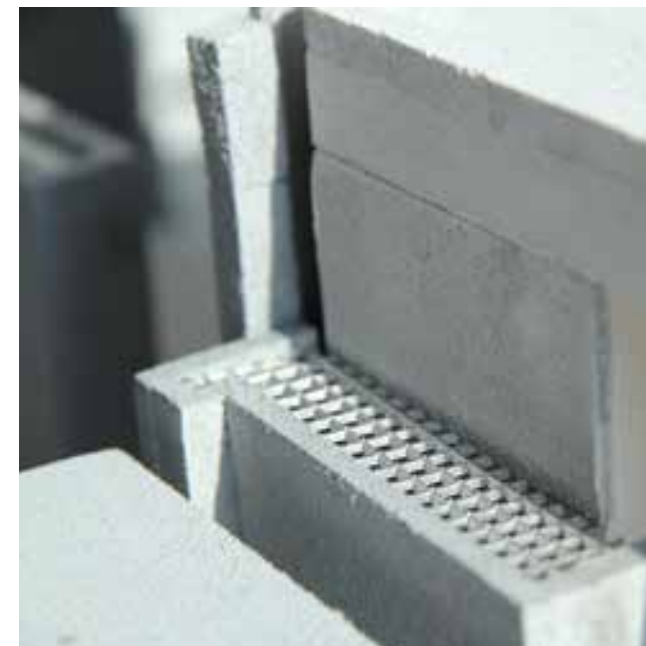
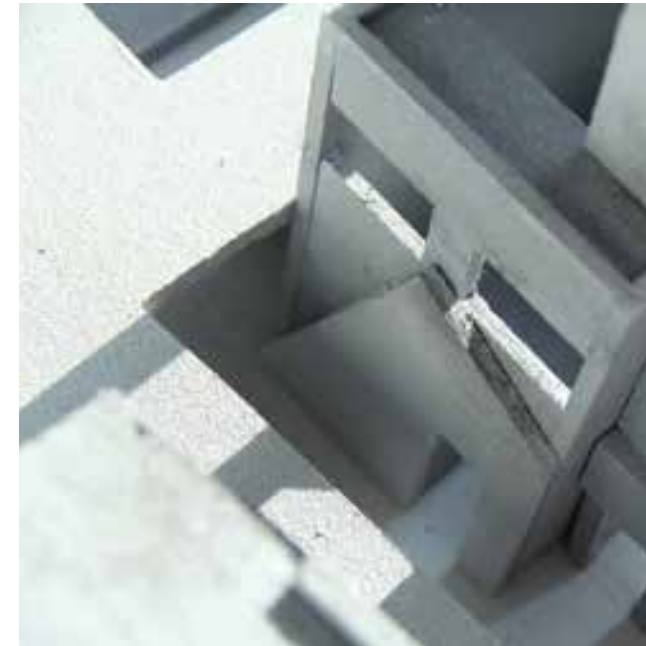
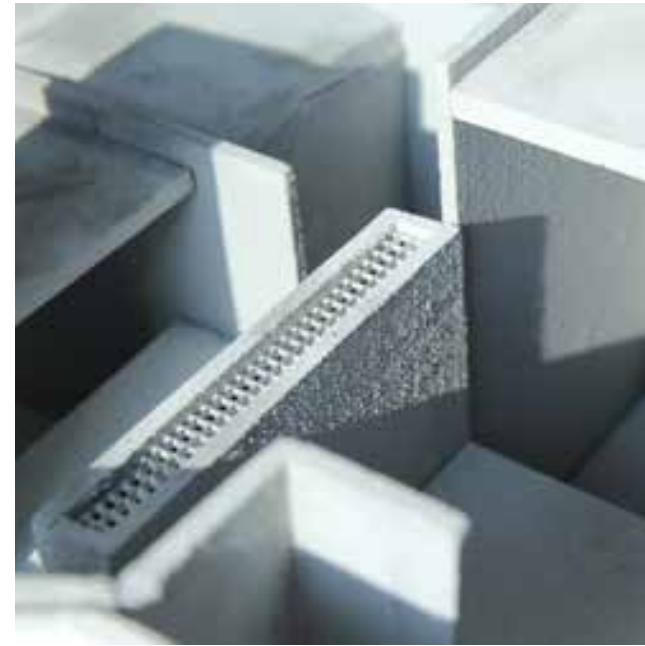
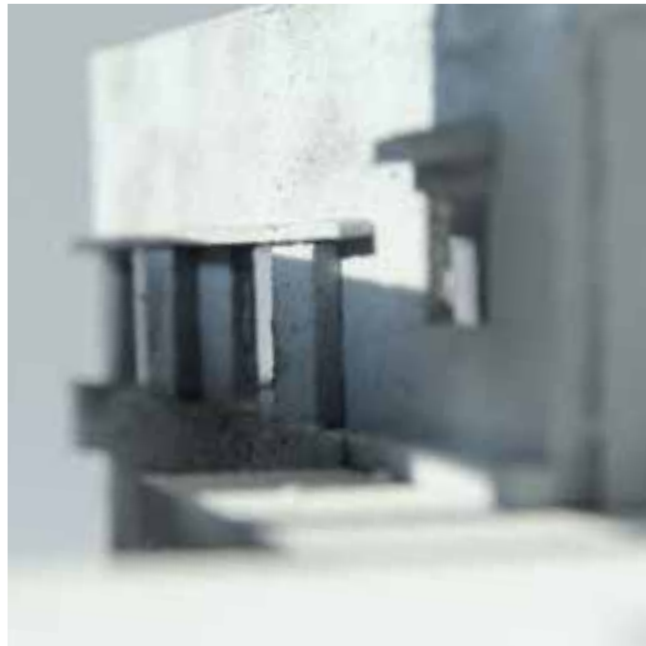


会員制のスナックや住宅は生活の外面的な現れが個性的でデザインの要素が多く見て取れる。これらは屋根を間引き外壁をのこす。このボイドは光庭になり永続的なボイドとして一時的な利用や、一時非難地帯として機能する。

Base Diagram3



裏はより裏に、現在の裏の裏の部分や隙間を継承し、水道などの配管や設備を集約するコアを設ける。このコアを中心に住みこなしが始まる。

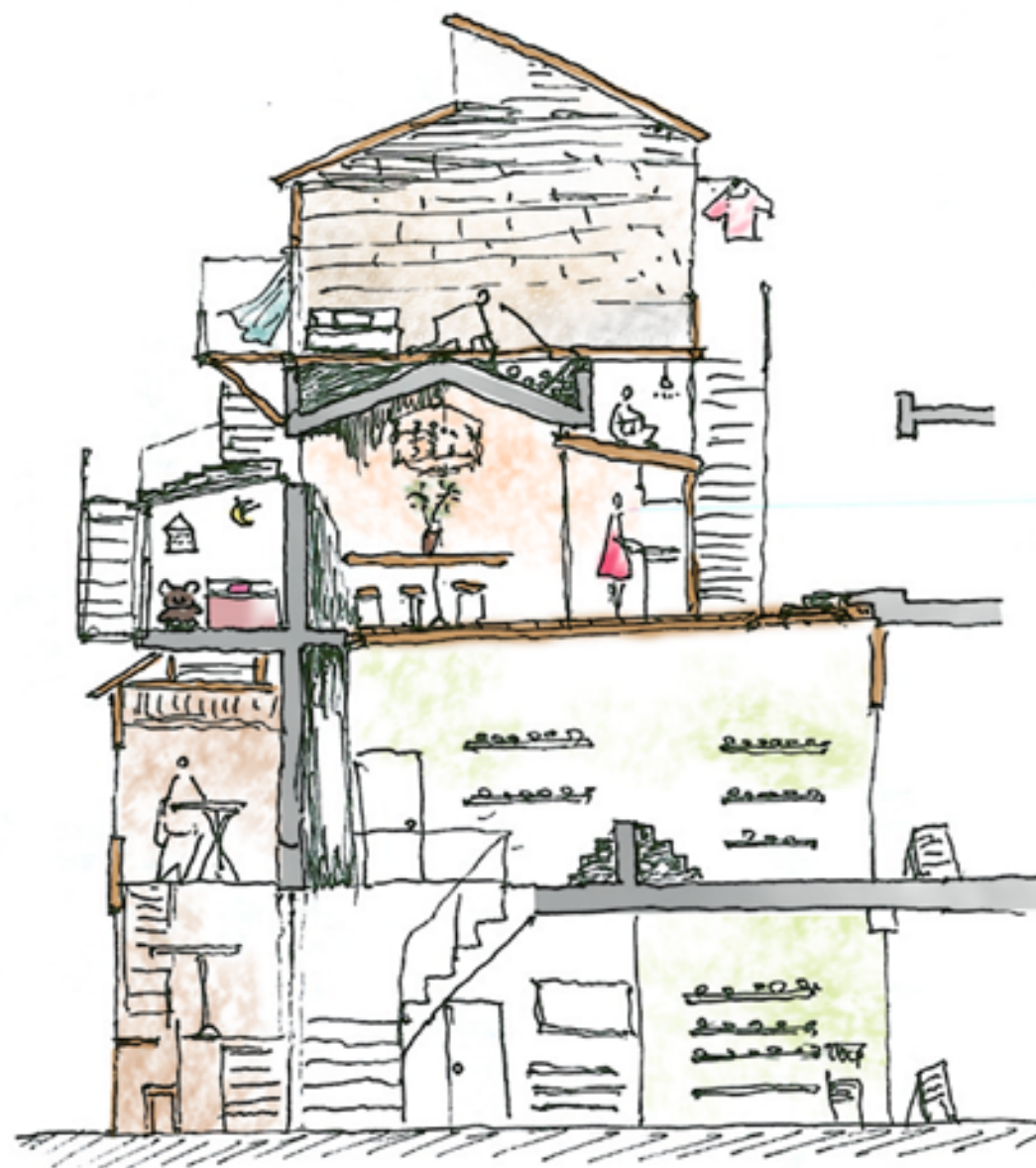




住みこなす日々

人々はその空間にヒントを見つけ「仮設的」に「より自由に」住みこなしていく。

家の中に段ボールで秘密基地をつくる。そんな子供の豊かな発想力のように
空間を継承するという論理でできた化石に
壁をつくり、窓を開け、屋根をかけ
住み着いていく。
住人の隣にいつもいるのは、建築家。





住みこなしていくために

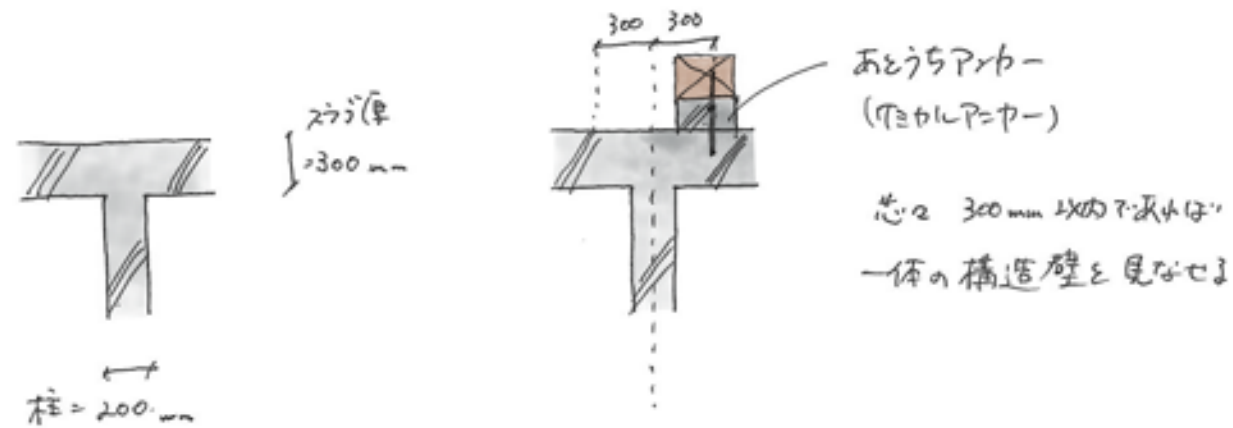
住みこなすルール

建築家の職能

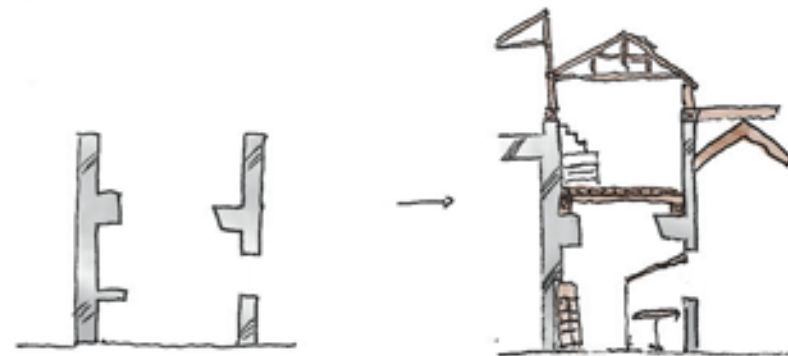
小山荘をみんなでつくるために

・住みこなすルール 1 ー構造壁のとらえ方とあとうちアンカーー

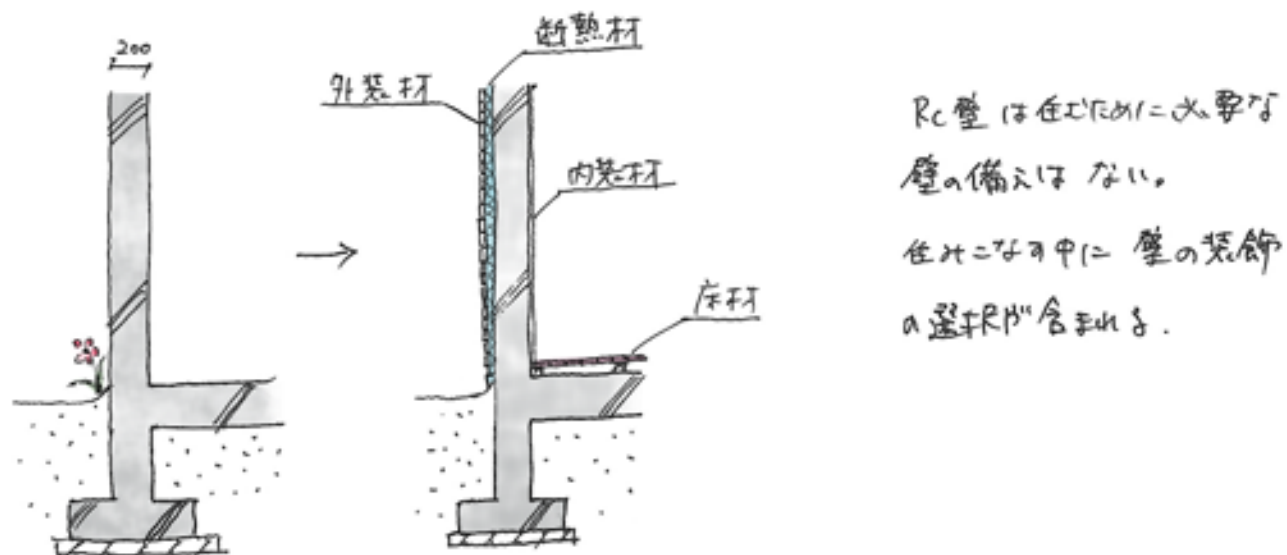
建築家の職能



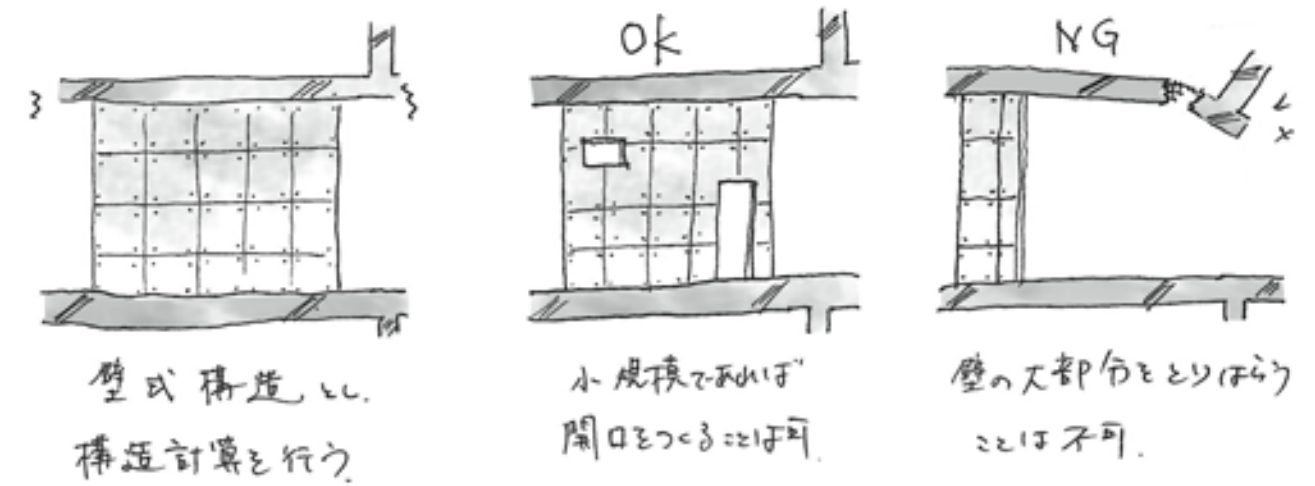
・住みこなすルール 2 ー継承した凹凸をヒントに住み着くー



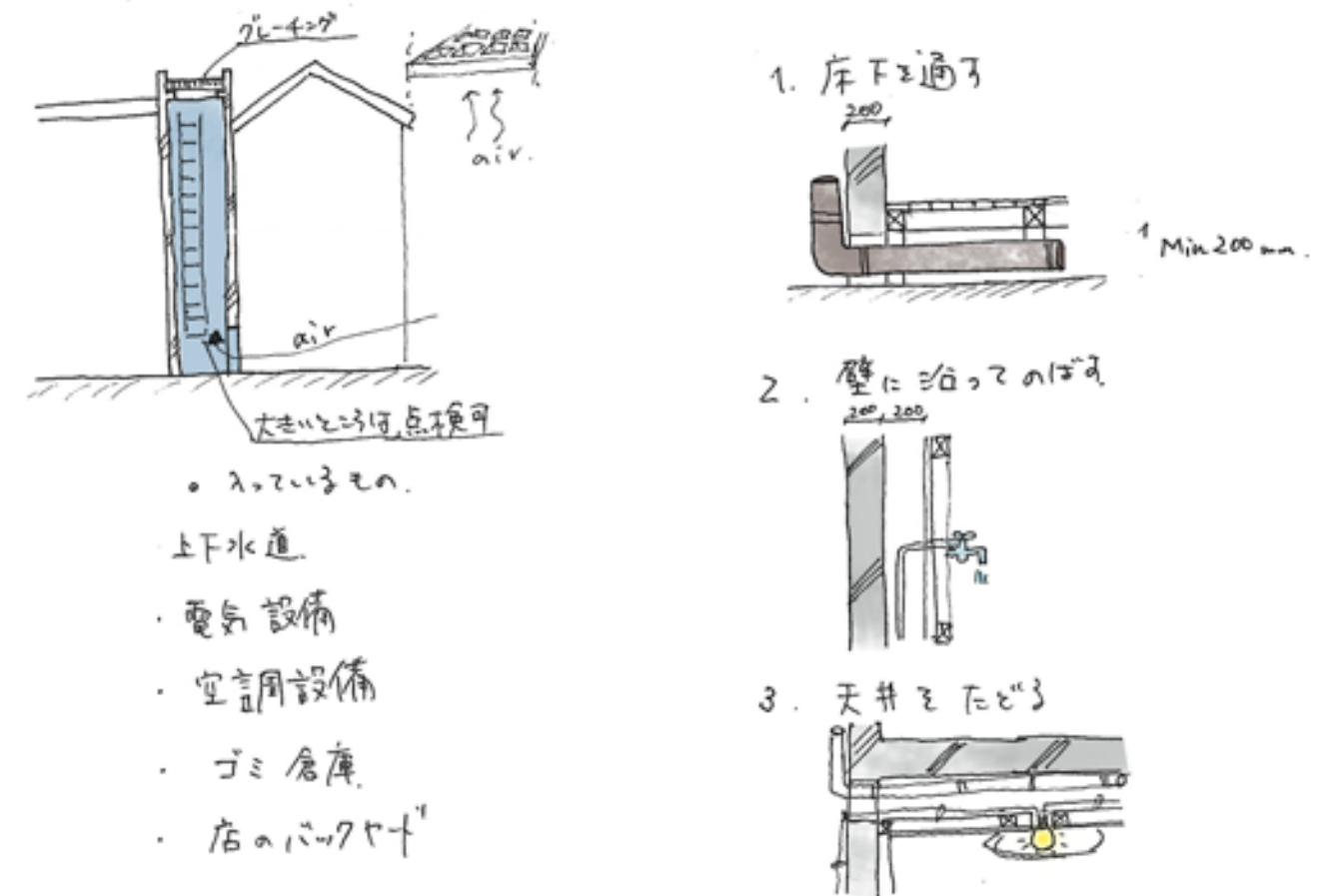
・住みこなすルール 3 ー壁の装飾ー



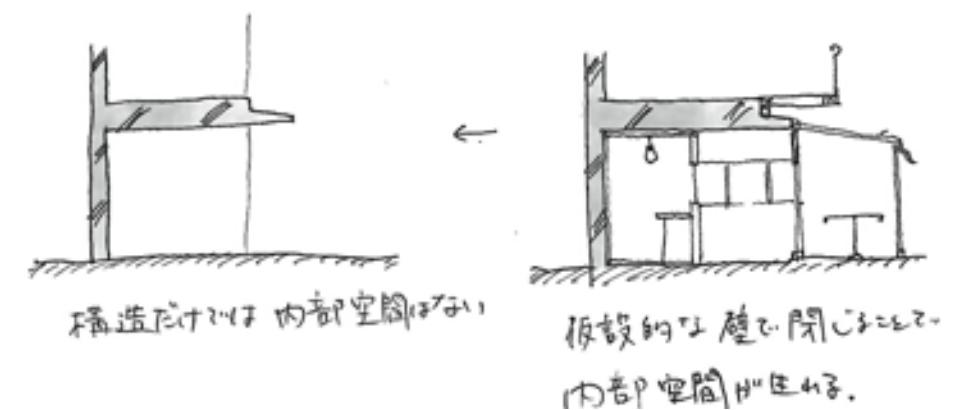
・住みこなすルール 4 ー壁を壊したいときはー



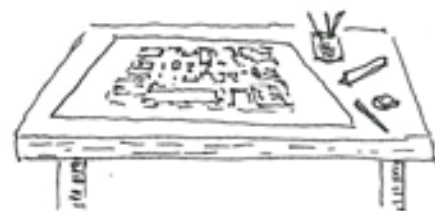
・住みこなすルール 5 ー設備の引き込み方ー



・住みこなすルール 6 ー内部空間のつくり方ー



1. 全体計画



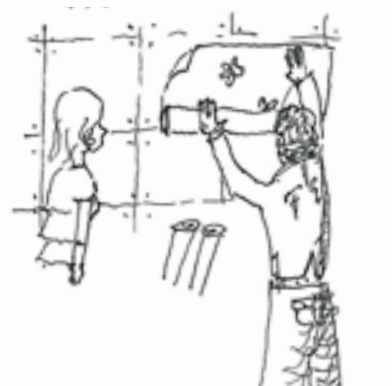
2. 管理・運営



3. 点検・補修



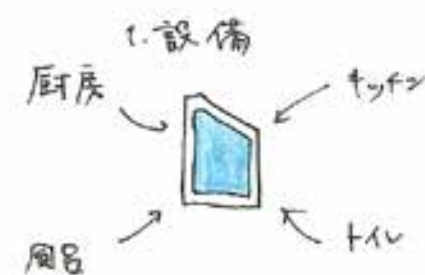
4. 相談・コミュニケーション



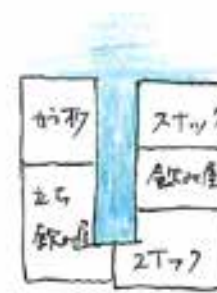
5. 店舗・住居計画

「生きられた化石」について共同性と公共性を分析し、既存と周辺の店舗を再配置してゆく

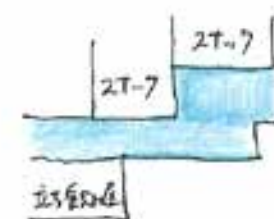
・ 共同性の強いもの



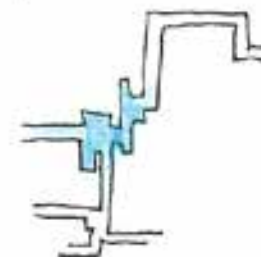
2. 狭小路



3. 狭い道

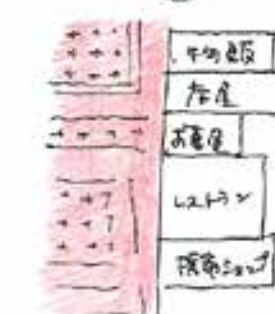


4. アフセシにいい場所

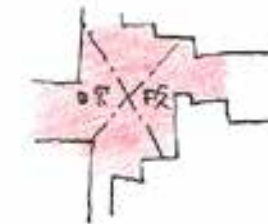


・ 公共性の高いもの

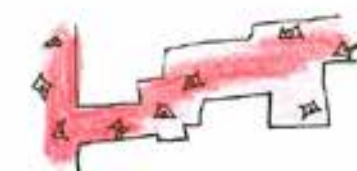
1. 商店街に面するところ



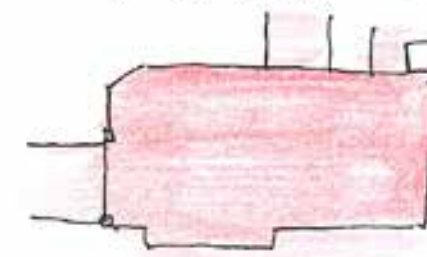
2. 広く日光が当たる場所



3. 人の目がいきるところ



4. 集会所・保育園の近く

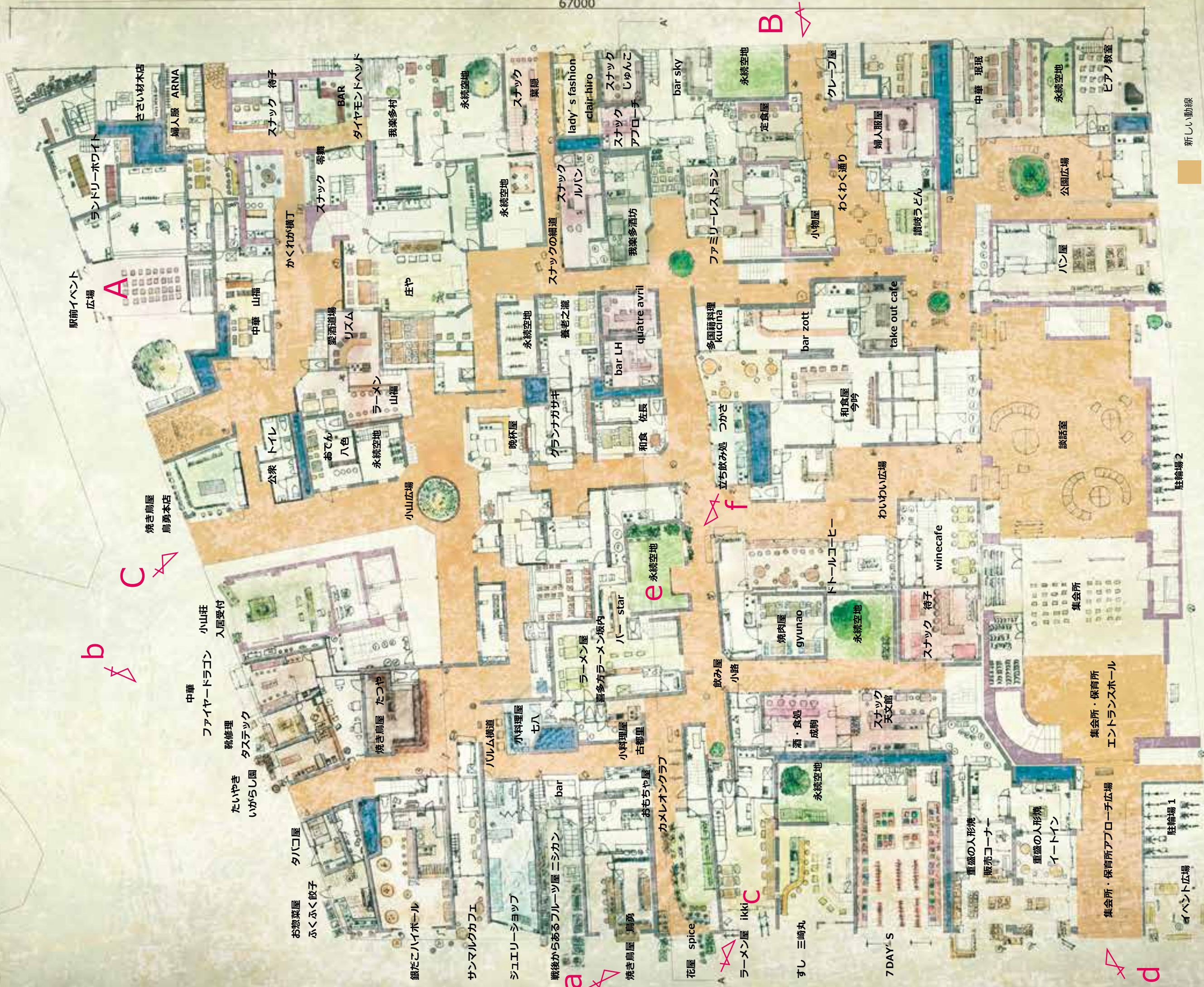


東急目黒線
武蔵小山駅
地上出口

バスロータリー

67000

53000



- 新しい動線
- 指定空地
- 設備コア



a



b



c



d



e



f



A



B



C



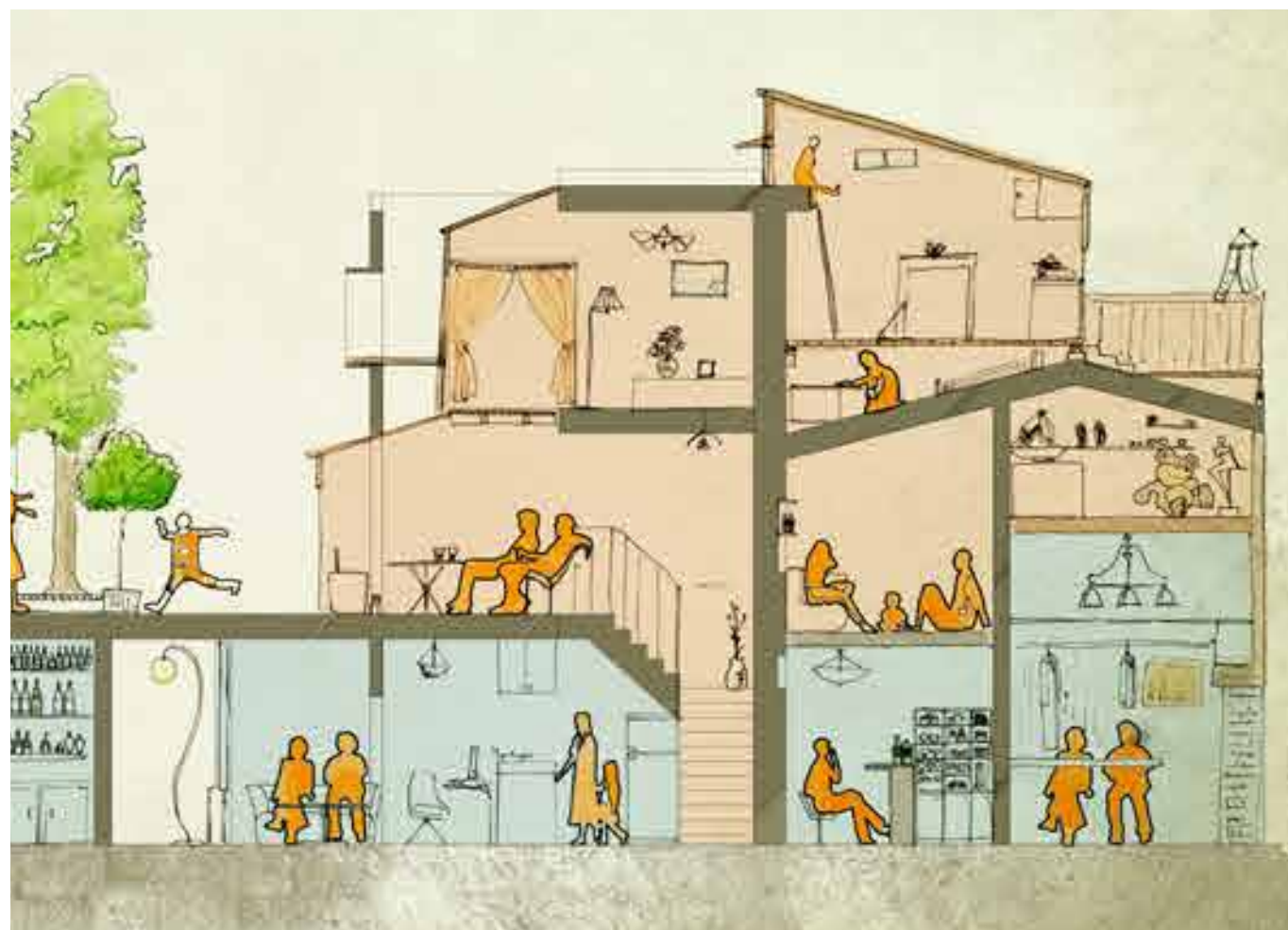
1 階は商店が入る。クランクしながら入り込む導線に店舗があふれ出し、人間味のある豊かな空間となる。一方、小広場や集会所と保育所の近くには多くの人に親しまれるような店舗が入る。名残を抽象化した RC の肌身には新しく内装をはり、記憶を更新していく。

a	b
c	d
e	f

a_ 商店街側ファサード
b_ 駅側ファサード
c_ ヴォールト天井のラーメン屋
d_ 集会所前の広場とカフェ
e_ 永続空地を通し下層に光が差す
f_ 飲み屋小路入口

A	C
B	

A_ 地下鉄の出口の延長上にある小さな広場ではまちの人々によってイベントが行われている
B_ 昼は空地に生活があふれ出し、夜には飲みを訪れた人々によって賑わいをもつ
C_ 老舗の焼き鳥屋がこの小山荘の中心にあり往来する人々の心をつかむ



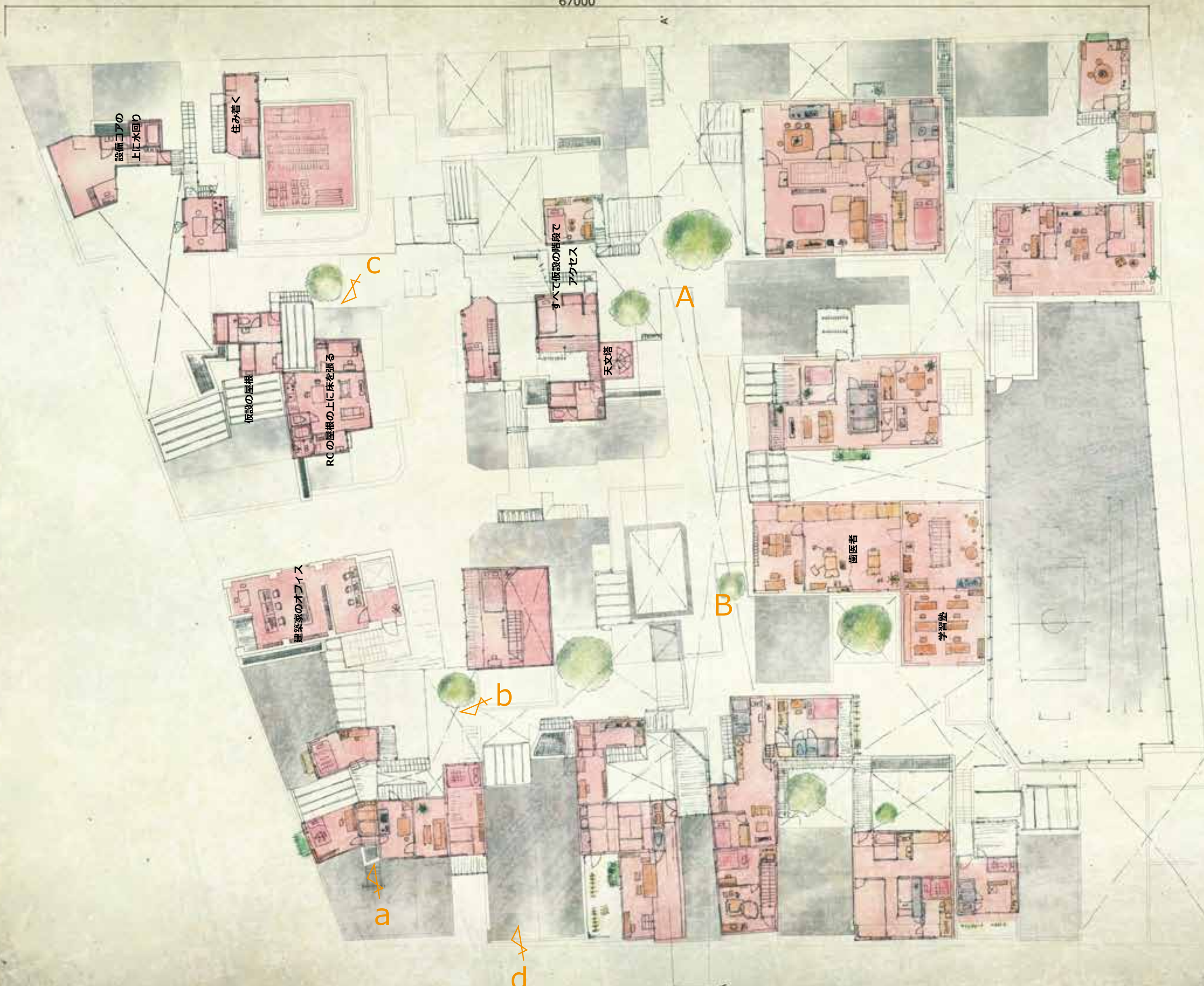
A_ 内部空間は余白によって住居と店舗が近接する
 B_RCのエッジにあわせて仮設建築がかぶさっていく
 C_ 床、壁をはめ込み内部空間を作っていく
 D_ 1階の新しい導線の天井は2階床となり住人たちのコミュニケーションの地盤となる

a_ 公園広場
 b_ 開口と光を読む
 c_ 壁を入れなければ視線が抜ける

床や壁をいれて初めて内部空間として成立する。屋根型が内部に現れ、天井高は床の張る高さによって上下する。インテリアにとどまらないことで、住まい手によってより個性に富んだ住居となる。

A	B	a
C	C	b
D	D	c

67000



設備コアの
上に水回り

住み着く

仮設の屋根

RCの屋根の上に床を張る

建築家のオフィス

すべて仮設の階段で
アクセス

天文塔

歯医者

学習塾

住みこなし領域

屋根余白

53000

住みこなし 3 階平面図
Scale: 1/200
0 9.10 18.20
9,100 mm 1.0 間



3階は2階までの高さが中心であった生きられた化石にあとうちアンカーで基礎をつくり、あふれ出るように上に増殖していく。屋根の棟を尾根として、看板建築の看板の頭、飛び出た底に木造の土台や梁をかけながら住みこなしていく。化石というある種の制約のなかにヒントを見つけ出す、生活が重ねあわさりながら変化していく姿が豊かに住んでいる都市民の証となっていくだろう。

A_RCと仮設の屋根のおりなすパッチワークな風景
B_建築家はまちを見守り、まちをつくり続けていく

- a_ 設備コアの上に水回りが配置される
b_ 仮設の導線をひき、3階へアクセスする
c_ 床、屋根をはめこみ溢れ出す
d_ 屋根裏部屋の裏の宇宙性に魅力を感じる

A

B

a | b | c | d

